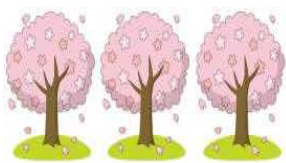


高取小だより

令和7年3月19日



三本桜

第39号

ふかく考える子 あたたかみのある子 がんばりのきく子
3月の目標： 学校生活のふり返りをしよう

卒業式 式辞

日ごとに寒さが和らぎ、木の芽お越しの雨に春の訪れを感じます。稗田川沿いの三本桜のつぼみは今にも花を咲かせようと待ち構えています。その姿は、新型コロナウイルスに負けずこれまで歩み続けた卒業生の皆さんに似て、美しく感じます。

本日ここに、高取小学校卒業式を挙行できましたことは、この上ない喜びです。この素晴らしい時に、高浜市副市長深谷様、高浜市教育委員会教育委員江坂様、高取小学校PTA会長上野様はじめ理事の皆様、並びに深い愛情をもち、日々お子様に寄り添い、今日まで育ててきました保護者等の皆様、そして本校教職員と在校生に見守られて、先ほど、84名に卒業証書を授与することができました。卒業生のこれまでの努力と成長に心から敬意を表します。積み重ねた数多くの挑戦や経験等は、今後の人生における大切な土台となることでしょう。支援をいただいた全ての皆様に感謝申し上げます。

本校を巣立つ84名の皆さん、卒業おめでとうございます。6年間という小学校生活を終えて、皆さんの心には、たくさんの思い出がよみがえっていることでしょう。楽しかったこと、うれしかったこと、悲しかったことや悔しかったことなど、全ての経験が、皆さんをここまで大きくたくましく成長させたのだと思います。

私は、皆さんと5年間、この高取小学校で学校生活を共にしました。皆さんがさまざまな場面で、「よく学び、よく遊べ」の言葉どおり、いきいきと活躍していた姿が思い出されます。また、最上級生として、かがやき集会 全校の歌をはじめ、委員会活動やクラブ活動、縦割り清掃、集団登校などの場面で、下級生をリードし、立派に責任を果たしてくれたことも忘れられません。

さて、新しい一万円札に印刷されている、「日本経済の父」と言われた渋沢栄一さんは、幕末から明治という時代の大きな変化に翻弄され挫折を繰り返しながらも、青天を衝くかのように高い志を持って未来を切り開いた人です。

今日の卒業の門出に、卒業生の皆さんに贈る言葉として、渋沢栄一さんの名言である「夢七訓」(ゆめしちくん)を紹介し、「夢」をもつ大切さについてお話しします。「夢七訓」。「夢なき者は理想なし、理想なき者は信念なし、信念なき者は計画なし、計画なき者は実行なし、実行なき者は成果なし、成果なき者は幸福なし、ゆえに幸福を求むる者は夢なかるべからず」



【卒業式予行のようす】

この教えは、幸せな人生を送るためには、「夢」をもつことから始まり、「夢をもつことの大切さ」を伝えています。そのためには、まずは、挑戦したいことを自分で見つけ、やっていく中で、次第に「夢」をもち、その中で、一年後、そして、将来の「自分の理想の姿」を描き、「信念」をもって実現に向けて、計画的に実行する努力を続けることです。このような生き方が大切であることが、「夢七訓」に込められています。

アメリカ大リーグ・ロサンゼルスドジャースで活躍する大谷翔平選手は、2年前のWBC決勝直前、チームメイトに次のような言葉をかけています。

「今日1日だけは、やっぱり憧れてしまったら超えられない。僕らは、今日を超えるために、トップになるために来たので、今日1日だけは、アメリカのメジャーの選手への憧れを捨てて、勝つことだけを考えていきましょう」

卒業生の皆さんに、大谷選手の言葉を借りて次のメッセージを送ります。

「皆さんは、今日を超えるために、時には憧れを捨てて、それを夢に変えて、前に進んでいきましょう」

最後に、保護者の皆様、お子様のご卒業、誠におめでとうございます。この6年間で立派に成長されたお子様の姿をご覧になり、さぞかし感慨もひとしおのものがおありだと、拝察いたします。この6年間の長い間、本校にお寄せいただきました温かいご支援・ご協力に対しまして、心から感謝とお礼を申し上げます。誠にありがとうございました。

結びに、この式場に集う人々と高取小学校にご縁のある全ての方々のご健勝、ご多幸を祈念し、私の式辞といたします。

令和7年3月19日 高浜市立高取小学校長 中井滋

小学校生活最後の給食（6年生）

【献立】とりめし、牛乳、厚揚げのふくめ煮、あおじそあえ、あおさのみそ汁、セレクトデザート

コロナ禍での給食は、全員が前を向いて静かに食べる黙食でした。はしと食器の触れる音が聞こえてくることもありましたが、放送委員会をはじめ各委員会や児童会の子どもたちが、工夫しながら音楽放送をしています。ときには各委員会や児童会の活動の様子を、ときには

テーマを設定したこだわりのあるの内容を、エピソード等を交えながら放送をしてくれました。「将来を豊かにたくましく拓く高取っ子」が育っていると感じた時間でした。



【3月14日の給食】

すごいぞ、児童会！

ペットボトルのキャップを集め、その売却益がワクチンの購入費に充てられる「世界の子どもたちにワクチンを運動」に取り組んでいた児童会が昨年の1.8倍となる9万個のボトルキャップを集め、回収者と樹脂メーカーの間に立つ「フジイ化工」（安城市）に寄託しました。収集数90,429個、ポリオワクチン105人分、CO₂削減量662kgになります。ご家庭での多大なるご協力に感謝します。



【フジイ化工のHPより】